

保護者用

家庭学習の手引き

幸手市家庭学習宣言

～子どもの学びを伸ばす家庭学習のポイント～

子どもたちの
明るい笑顔と未来のために



毎日コツコツ
続けることで
学力アップ!

幸手市教育委員会
幸手市立小中学校長会
幸手市PTA連合会

平成28年10月



家庭学習の意義

家庭学習をするとこんないいことが…

家庭学習の習慣化



根気・集中力



進んで学ぶ姿勢



家庭学習の習慣が身につくことで、学習に対する自信や自ら学ぼうとする意欲、何事にもねばり強く取り組むがまん強さや集中力、自ら進んで学習に取り組む姿勢が身につく、脳が活性化されます。これは、自分の夢や目標を実現するために様々な問題を解決する「**未来を切り拓く力**」となり、生涯にわたって学び続ける力となります。

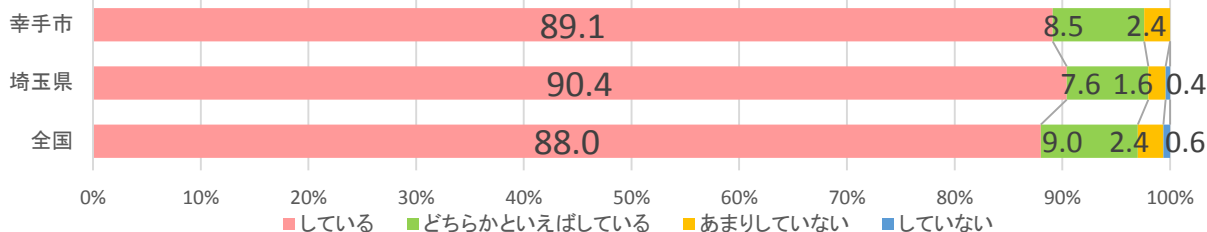


幸手市の家庭学習の現状

資料：平成28年度 全国学力・学習状況調査

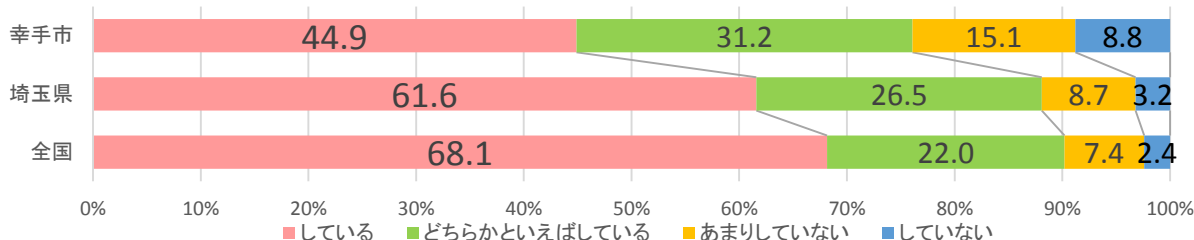
小学校

家で、学校の宿題をしていますか



中学校

家で、学校の宿題をしていますか



幸手市の家庭学習の現状として、平成28年度全国学力・学習状況調査の結果から、大きな課題が見られます。それは「家で、学校の宿題をしていますか」という問いに対して、**小学校、中学校のいずれでも、「している」と回答している児童生徒の割合が、埼玉県の平均と比べて少ない**、ということです。

学校の宿題に取り組むこと、つまり家庭で学習に取り組むことは、子どもたちの確かな学力を育むために必要不可欠な取組です。幸手市ではこの結果を踏まえ、今まで以上に子供たちが家庭で学習に取り組み、家庭学習を充実させることが必要と考えました。



確かな学力はみんなの力で！

家庭と学校が協力し合って 子どもの確かな学力を育てましょう！

家庭

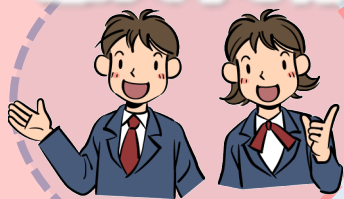


学校



進んで学ぶ力

- 基本的な生活習慣
- 学習に集中できる環境
- 認め、励ます
温かなふれあい



- 基礎的・基本的な知識や技能の習得
(分かる授業)
- 習得した知識や技能の活用
- 家庭学習の提案

心身の健康

学力を育てるために大切なことは、家庭でも、学校でも

好きなことは、とことんやる！

やらなければならないことは、きちんとやる！



掃除



規則正しい生活



携帯・スマートフォン
テレビ・ゲームは
時間を決めて！



この手引きの使い方

- この手引きは、家庭学習の習慣化を目指し、各家庭の実情に合わせて子どもたちが家庭学習に取り組めるよう、家庭学習の取組のポイントをまとめたものです。
- 幸手市では各小・中学校において、同様の手引きを作成しているところもあります。この手引きを家庭学習の基本として考えていただき、各学校での手引きも積極的に活用してください。



家庭学習を充実させ、家庭を学びの環境に！

小学校 1・2年生

基本的な学習習慣をきちんと身につける



学習時間の
めやす

20~30分



育ちや学びの特徴

- 一人で学習の内容や方法を決めることはまだ無理です。家族の手助けが欠かせません。
- 「やったね!」「できたね!」などの褒め言葉が学習意欲を高めます。
- どんなことにも興味や関心を持ちます。様々なことを吸収する時期です。
- 基本的な生活習慣が身につくと、学習の習慣も身につきます。



保護者の関わり方

- 宿題に取りかかる前に、勉強する場所の整理整頓や、宿題をするのにふさわしい環境づくりを心がけましょう。テレビを見ながら、ゲームをしながらなどの「ながら勉強」にならないようにしましょう。また、毎日決まった場所（親の目の届くところ）で取り組めるようにしましょう。
- 学校から出された今日の宿題や、お手紙などのプリント類を一緒に確かめましょう。
- 時間を決めて宿題に取り組めるようにしましょう。最初のうちは集中力が続かない子どもも、時間を意識させて取り組ませることがメリハリのある家庭学習につながります。
- 鉛筆の持ち方やノートの使い方についても、正しくできるよう声をかけましょう。



家庭学習宣言 3か条

ここが大事!

1 学習の見届けをします!

「宿題はさいごまでやる!」という習慣を身につけさせましょう。そして、最後までやったかどうかを必ず家族で見届けましょう。根気強く働きかけることが大切です。

2 家族の一員として家事をさせます!

子どもたちにも家事を分担させましょう。家事も家族の一員として大切な仕事。責任感を育むとともに、学習に必要な持続力、集中力、根気なども養われます。

3 大人が子どものよいお手本になります!

大人がお手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。子どもたちは大人のうしろ姿を見て育つもの。家族ぐるみでよい学習習慣づくりに努めてみましょう。



小学校3・4年生

自ら学習に取り組む姿勢を身につける



学習時間の
めやす

40~50分



育ちや学びの特徴

- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなりますが、まだ手助けが必要です。
- 好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- 集団での行動を好むようになり、少しずつ口答えや反抗が見られるようになります。
- 家族の温かい励ましの言葉がやる気を起こし、心の安定を育みます。



保護者の関わり方

- 宿題に取り組む前に、宿題をするのにふさわしい環境づくりを意識させましょう。本人が集中できる環境づくりができるようアドバイスしましょう。また、決まった場所（親の目の届くところ）で取り組ませましょう。
- お手紙などのプリント類は、本人が保護者に渡すように習慣づけましょう。
- 今日の宿題を自分で確かめさせ、時間や目標を自分で考えさせるようにしましょう。
- 1・2年生のときと比べ、学校で学習する教科が増え、学ぶ範囲も大きく広がる時期です。学校の授業や友達との関わりを話題とする「家族の時間」を大切にしましょう。



家庭学習宣言 3か条

ここが大事！

1 宿題以外の学習にも挑戦させます！

学校から出された宿題だけでなく、宿題以外の自主的な学習にも積極的に取り組みせ、家庭学習のレベルアップを図りましょう。家事の分担も大切な学習です。

2 テレビやゲームは、時間を決めます！

テレビやゲーム、スマートフォンなどに夢中になり始める時期。だからこそ、家庭でルールと時間を決めましょう。大人の姿勢も大切です。家族も協力をしましょう。

3 「がんばり」を本気でほめます！

学習の理解度に少しずつ差が出始める時期。子どもは兄弟や友達との比較を気にします。他の子と比べず、本人の「がんばり」を本気で褒めましょう。



小学校5・6年生

自ら計画を立て学ぶ習慣を身につける



学習時間の
めやす

60~70分



育ちや学びの特徴

- 自分を客観的に見つめたり、友達と自分を比べたりするようになります。
- 自主性が育ち、考える力も大人並みになり、時には大人への反抗も見られます。
- 大切にされているか、周りに認められているかなど、大人の評価が気になります。
- 得意・苦手な教科を意識し始めます。周囲のアドバイスで興味・関心が大きく左右されます。



保護者の関わり方

- 宿題をするのにふさわしい環境づくりができるよう見守りましょう（親の目の届くところで取り組ませましょう）。ただ、大人からの「まだ宿題はやらないの？」はかえって逆効果になることもあります。本人の「やる気」を育てるように心がけましょう。
- 勉強する目的や勉強方法に悩み始める時期。子どもの将来の夢や目標を話題にして、努力することの大切さを伝えましょう。時には、親が自分の経験談や失敗談などを話題にしてあげましょう。



家庭学習宣言 3か条

ここが大事！

1 内容、時間を決めて計画的に取り組ませます！

習い事など、放課後をあわただしく過ごす子どもも多く見受けられます。その日の予定を見通して、内容や時間を考えた計画的な家庭学習にしましょう。アフタースクールに参加している場合は、アフタースクールで身につけた学習習慣を生かしましょう。

2 もう一度生活習慣の見直しをさせます！

高学年になるにつれ、生活リズムが崩れがちになります。中学校生活で大きく生活リズムを崩さないためにも、高学年のうちにもう一度、早寝早起き、朝食を食べる、テレビやゲーム、スマートフォンの時間を決める、といった生活習慣を見直しましょう。

3 最後まであきらめず、ねばり強く取り組ませます！

宿題に取り組むだけではなく、学校での授業を振り返り、自主学習ノートなどを使って、その日の授業の復習に取り組むようにアドバイスしましょう。苦手な教科や内容でもあきらめずに、ねばり強く取り組ませましょう。



中学校 1・2年生

自ら進んで計画的・継続的に学ぶ



学習時間の
めやす

2

時間以上



育ちや学びの特徴

- 心と体の成長がアンバランスになりがちで、不安や悩みを抱えやすくなります。
- 家族との関係や友人との関係など、人間関係の構築にエネルギーを注ぎ、時にトラブルにつながることもあります。そこから多くのことを学ぶ時期でもあります。
- 充実した学校生活を送るためにも、部活動との両立が大切です。
- 中学校2年生がもっとも学習する内容の多い学年です。



保護者の関わり方

- 小学校の頃に比べ、家族から自立したいという気持ちが強くなり、学習についても家族から言われることに抵抗を感じる時期です。具体的な目標と計画を自分で立てさせるようにしましょう。定期テストの時期は計画を立てて取り組ませるチャンスです。
- 小学校と違い、毎日担任の先生から決まった宿題が出されなくなります。自主学習の習慣を身に付けさせるためにも、自主学習ノートを用意して取り組ませるようにしましょう。
- 毎日決まった時間、決まった場所（親の目の届くところ）で取り組ませましょう。



家庭学習宣言 3か条

ここが大事!

1 授業は学びの基本！復習はその日のうちに。

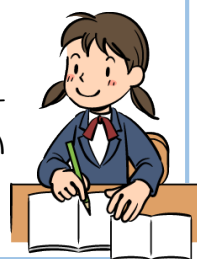
教科ごとに先生が変わることに加え、小学校で学習する内容に比べ、質・量ともに増えます。だからこそ、一つ一つの授業が大切です。授業に集中させるとともに、その日学習したことをその日のうちに復習する習慣を身につけさせましょう。

2 継続は力なり！学習時間を生活に組み込んで。

中学校では、毎日の部活動があるため、学習の時間も不規則になりがちです。できるだけ、毎日決まった時間に家庭学習ができるように習慣付けましょう。毎日継続して取り組めるよう、生活リズムの中に組み込める手助けをしましょう。

3 急がば回れ！達成感が自信につながる。

問題に取り組んでいて分からないときは、分かるところまで戻り必ず見直すが、しっかりとした理解につながります。自分の力で「分かった！」という達成感を味わうことが、さらなる自信とやる気につながります。



中学校 3 年生

目標を明確にし、自分の力を伸ばす



学習時間の
めやす

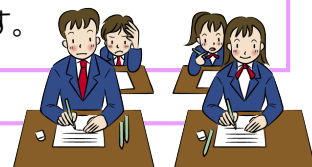
3

時間以上



育ちや学びの特徴

- 自らの進路選択を控え、目的をもって学習に取り組めるようになる反面、将来への不安から、焦りやいら立ちを覚え、不安定になることもあります。
- 大人がかける言葉に敏感になり、今まで以上に強く反抗することがあります。
- 将来を見据えた目標をもつことが、本人のやる気に大きくつながります。



保護者の関わり方

- 人生の節目を迎えるこの時期、本人がどのような進路を考えているのかよく話を聞き、家族でしっかりと話し合しましょう。学校からの進路情報も欠かさず確認しましょう。
- 学習のつまずきや、学習の仕方が分からないときは、先生に聞くことも大切です。本人に合った学習方法をアドバイスしてもらうなど、必要なときは先生に相談をしましょう。
- 保護者の方にとっても、受験期の子どもを抱える不安は大きいものです。しかし、子どもたちはそれ以上の不安を抱えています。どんなときも家族がしっかり支えてくれている、という安心感が本人の自信につながります。そのためにも家族の協力が不可欠です。



家庭学習宣言 3か条

ここが大事！

1

もう一度よく確認！生活習慣の点検を。

家庭学習の基本は、正しい生活習慣を身につけるところから。特に中学校3年生は部活動を引退すると、今までの生活の反動から生活リズムが崩れがちです。もう一度テレビやゲーム、スマートフォンの時間などを見つめ直し、生活習慣の点検をしましょう。

2

テストは今の自分の力を測る絶好の機会！

定期テストや模擬試験など、今まで以上にテストが増える時期です。テストは今の自分の力を測るバロメーターです。テストを受ける際には、自分の目標を明確にして、計画的な学習に取り組む習慣を身につけさせましょう。

3

1日1日の学習の「貯金」が結果につながる！

コツコツと積み重ねた学習の「貯金」が試験でも発揮されます。毎日欠かさず家庭学習に取り組めるよう、進路を見据えた取組にしましょう。特に、夏休みや冬休みといった長期休業日は、学習の「貯金」を積み上げるチャンスです。

